

2025年6月2日09:30(日本時間) / 00:30(協定世界時)まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

製造業の業況の悪化、5か月ぶりの緩やかなペース

主な動向

生産高と新規受注数、緩やかに減少

購買コストと製品価格のインフレ率は緩和

今後1年間に対する景況感、4月に記録した直近の最低水準から改善

最新のPMIデータによると、日本製造業の業況は5月に2025年初来で最も緩やかなペースで悪化。新規受注数の減少は前月から顕著に和らぎ、生産高の水準も小幅な減少にとどまった。それでもなお、企業らは購買活動の縮小を継続し、購買品、完成品の在庫をともに削減した。一方、インフレ圧力は弱まり、購買コストと製品価格のインフレ率はそれぞれ14か月ぶり、47か月ぶりの低水準に鈍化した。

今後1年間に対する景況感は、4月に記録した新型コロナパンデミック後の最低水準から回復し、将来の生産見通し改善が雇用の増加加速を後押しした。

主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI®)(製造業の業況を総合的に表す指標)は、4月の48.7から5月は49.4に上昇。製造業の業況が11か月連続で悪化したことを示唆した。ただ、最新の指標は、業況悪化ペースが今年に入ってから最も緩やかで、わずかな悪化にとどまったことを示した。

セクター別データによると、生産財セクターの業況は改善へと転じ、中間財セクターの業況は悪化ペースが和らいだ。一方、消費財セクターの業況は4月の改善から再び悪化した。

主要指数の上昇に寄与したのは、5月の日本の製造業における新規受注数全体の減少ペースが和らいだことだった。総新規受注数は緩やかに減少したが、その主な要因として、米国の関税政策と顧客の慎重姿勢の強まりの中で需要環境が低迷したことが挙げられた。新規輸出受注の減少ペースも4月からは和らいだものの、全体としては根強い減少傾向が続いた。

低調な需要環境を背景に、日本全体における製造業生産高は5月にさらに減少した。しかし、減少ペースは、4月からわずかに加速したものの緩やかだった。

今後1年間の生産高予想に対する景況感は、4月のほぼ5年ぶりの低水準から回復した。成長見通しの根拠として、多くの企業は世界的な需要の回復や新製品発売を挙げた。しかし、米国の関税政策、インフレ、人口減少に対する懸念を表明する企業もあった。

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出所: auじぶん銀行、S&PグローバルPMI

本調査データ集計期間: 2025年5月12日~5月22日

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクス・アソシエイト・ディレクターのAnnabel Fiddesによる最新調査結果についてのコメント

「最新のPMIデータによると、5月の日本の製造業の業況は安定化に近づいた。企業らは、売上高の減少ペースが和らぎ、雇用の伸びが強まったことを示唆した。一方で、生産高の減少は比較的緩やかで、4月と同水準だった。

企業らは、米国の関税政策や顧客の慎重姿勢の強まりを受けて世界的な需要環境が低迷したことが、新規受注と生産計画に悪影響を与えたと指摘した。

それにもかかわらず、今後1年間の製造業の業績には改善の兆しがみられ、将来の生産高に対する景況感は5月に回復した。さらに、企業らが世界的な需要環境の改善を見込んで生産能力の増強を図っており、雇用水準は一年以上ぶりの速いペースで上昇した。」

今後1年間の楽観的な見通しに加え、未充足の欠員を補充しようとする動きが、雇用のさらなる増加につながった。雇用増のペースは緩やかだったが、2024年4月以降で最も高水準だった。雇用水準の向上と新規受注数の減少により、企業は着実なペースで受注残に取り組むことができた。

新規受注数の動向を反映して、購買活動の縮小ペースは5月に鈍化し、緩やかなペースにとどまった。一方で企業らは、購買品と完成品在庫の水準を前月より速いペースで引き下げた。

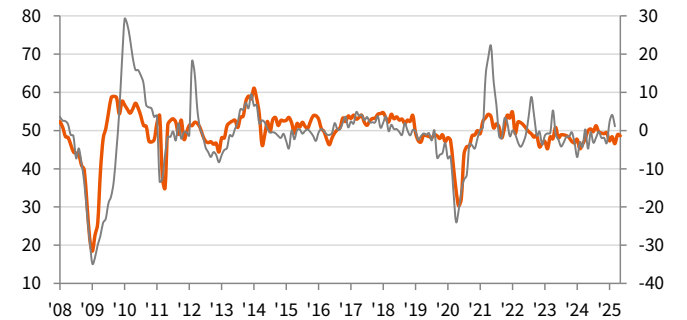
日本の製造業は、サプライヤー業況が5月に再びわずかに悪化したことを示唆。企業の多くは、一部の供給業者における原材料と労働力不足が長期的な課題を招いたと示唆した。

5月における日本の製造業の平均購買コストは、前月より緩やかなペースで上昇。インフレ率は過去14か月で最も低水準だった。同時に、製品価格のインフレも5月に和らいだ。製品価格の上昇はほぼ4年間で最も緩やかなペースだった。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出所: auじぶん銀行、S&PグローバルPMI、経産省 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス)

お問い合わせはこちらどうぞ

Annabel Fiddes
エコノミクス・アソシエイト・ディレクター
S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
電話: +44 1491 461 010
annabel.fiddes@spglobal.com

広報部門
S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
press.mi@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

本調査データ集計期間: 2025年5月12日~5月22日

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標又は登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバルからお届けするニュースリリースの配信停止をご希望の場合は、press.mi@spglobal.com宛てにその旨お知らせください。当社プライバシーポリシーは、[こちら](#)からお読みいただけます。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。